

光を仰ぐ人

中山貞雄

発行所 田代村公民館
電話 19番
発行責任者 湯ノ谷米吉
編集責任者 白桃 進
鹿児島市易居町2
南日本新聞社印刷局

講演會（夏季講座）の日程等については近く公文を以て部落にも流す手はずに致して居りますので御期待下さい。

尚去る七月二十八日から三十日盗罪見島市で行われた、県主催の明るい社会建設講演會には田代からも十八名もの多数の方々が出席され、中山先生の御講演は直接聞のと同じです。

学校給食の事については田代小一た。

學校給食の事については田代小
学校において昨年よりその内容に
ついて詳細説明申し上げる様方
に決定し、去る六月二十日から給
食室の建築工事に着手いたしました
御承知の通り田代小学校の一隅
に田代にふさわしい緑の屋根がこ
の度完成いたしました。
設備の内容も三万五千円もす
る高圧ボイラーを始め七万五千円
の蒸気による二重釜、機械による
いも類の皮むき機、パン焼釜、ミ
ルク攪拌器等珍らしい機械も約百
万円の高額を投じて準備全く整い
学校に引渡しました。
この学校給食については一切を

「価格はどう決つたか」

米価はどうか決定したてでしょうか、
 〓今年の平均支払価格一〇、三三三
 三円はとうてい決められたもので
 しょうか〓

米価は農家にとって最も大きな問題ですが、これはどうして決めら

当り九、七四五円でしたが。
 今年は一般物価の値下りを考
 えて備かではありますが、九
 、七〇〇円と安くなつていま
 す。

④時期別 価格差（平均二六

えますと、昨年は平均一八三元、本年は若干上回つて二六円となつています。

③等級価格差（平均六七円）
品質によつて差をつけるのもで、三等米を基準として、一等、二等は夫々四〇〇円、二〇〇円高、四等は逆に二〇〇円

るための申込をて売つた分について、石当り一〇〇円の加算金を支払ふことになつています。

④包葉代（石当り二・五円）
各種の俵、かます等の代金で昨年は、俵八〇円でしたが本年は八五円と、石当り平均

しては実施の課程において御意見を承る事といたします。

この給食により学童の健康体位向上を図る事は今更論ずる迄もないと思ひます。問題は一人当り三百円の給費の拠出にあると思ひますのでその繰出についてお互に

米の売渡し時期別に支払われ
る加算金で

第一期（九月三十日まで）
八〇〇円

第二期（十月十日まで）
六〇〇円

第三期（十月二十日まで）
四〇〇円

第四期（十月三十一日まで）
二〇〇円

となつてゐます。加算額は昨
年と同じですが、ただ政府に
売渡す時期によつて、価格差

安となつてゐます。そして三等米を基準とした場合今年は平均六・四高くなる見込です

④歩出加算（二・五円）
今年は五〇円高くすることとし、全体とは三五円高くなります。昨年は三五円で平均は十七円五〇銭でした。

⑤申込加算（一・〇〇円）
現在米の売渡（一）は、事前売渡申込制（六月ゆるす予約制）といつて、六月までに売渡申込をして、出来秋に出すという

二・五円（昨年は一八・八円）となつてゐます。

⑦平均価格（一〇、三・三三円）
以上の①基本価格から⑦包装代までを合計したものが、玄米・石当り平均価格一〇、三・三三円となります。

以上を総合して考えてみますと昨年の石当り平均価格は、一〇、三・三三（五〇銭）でしたから、今年の米価も昨年と殆んど同じといふことがいえます。

（区報資料第二七号より）

適当な方法を考え下さゝりまして連賞がスムーズになされ子供健康がより以上に向上せんことを願うものであります。

尚建築設備に要した経費は次の通りとなっております。

建築費 四二坪 百十三万円
請負者 松元順
設備費 施設 六十八万二千元
備品 三十五万四千元
その他

知簿今に新人九基 廿

基本選挙人名簿の作成について

本選挙人名簿は毎年
月十五日現在で選挙
の資格を調査の上、
しくくり直すこと
なつてゐる。特に
回作成する選挙人名
は来春行なわれる県
、県議及び村長、

3、国會議員

採用人員 全圖で約二万四千
名

第三次自衛官募集が次の要
で進行されます。希望者は振
て応募下さい。応募書類は役
に備えてあります。の條へ申
出て貰つて下さい。

一、応募資格

1、年令 昭和九年一月三
十日生れから昭和十六年一
月一日までの間に満二十歳
に達する者

2、年令要件

名簿確定日（十二月二十日）
現在で満二十歳以上にな
る者即ち昭和十三年十二月
二十日以前の出生者

3、国籍要件

日本国籍を有する者

九月一日から
全ての取引を
メートル法で実施致します

田代農協

ご承知の通り、昭和三十四年に九月一日から全ての取引（売
の一月一日から、メートル法が）り買）にはメートル法を実施
実施されます。豊協では、皆さ致ます御諒解の上、御協力下
まにその間になれていただく為、さい、

者は異議の申立をすること
できます。

五、異議申立の決定
申立のあつた日から二十日
内

六、確定期日
昭和三十三年七月二十日
右期日以後行なわれる選挙
この名簿は使用されます

第三次自衛官募集
がはじまります

としよりの日に寄せて

○としよりのために明るいすまよ　五日現在

医学の発達と公衆衛生の向上が人間の平均寿命は男64才女68才のびた。時代は變つても年より老ぬ敬う氣持はつてゐる。としよりの生活を明るくゆたかにする意圖で昭和二十六年以來全的に実施されております「としよりの日」「としよりの福祉週間」はすでに第八回を迎え年を追うに従つていよいよ盛大に行われ社会層の関心の的となつております。

そこで本年も九月十五日を「としよりの日」九月二十一日までを「としよりの福祉週間」として全的にいゝな行事が催されます。

第 八 回 と し よ り の 福 祉 週 間

の方に知事より長寿祝品（掛ふとしみ手を差のべ駄組手）としん一枚が贈呈されることになつておりますが本村のいたしまして「としよりの日」九月十五日には、としよりを敬愛し、したしみを深め以つて老人の福祉を増進する意味から村長をはじめ関係者が村内八十八才以上の方の各家庭を訪問、村紡毛干型製品並びに祝品を贈り祝福いたす計画であります。

各部各家庭におきまして次の様な行事を行いせめて全的に定められた九月十五日としよりの日なりとも老人に満足な日を送らしてあげましょう。そして私たちがは私たちの毎日の生活の場において、としよりに対しあたたかい親

としよりの福祉週間

の心尽しによりとしよりのだけ姪に明るい余生を送ることによろしく。

部落では

○慰安協会などを開き老人待する。

○としよりの手芸品作品を陳列し一體に陳する。

○高齢者に祝品を贈る。

○老人福祉について座談会または討論会を開く。

家庭では

たは	列し	人を招
八八八八八八八八八八 九八七六五四三二一〇	年令 性別	男
〇〇二三〇二五五三六	女	計
二一四四一四九五〇四		
二一六七一大四〇三〇		

長寿率%	村人口	計九九九九九九九九 七六五四三二一〇
0.77	3766	二九一〇〇〇〇一〇
1.22	3837	四六〇〇〇〇一〇〇〇
1.00	7603	七五〇〇〇〇

二、八十才以上高令者

部 落	氏 名	性別	満年齢	生 年 月 日
新田	白山五郎	男	九十七	文久元年四月五日
辺志駒	辺志駒スミ	女	九十四	元治元年五月一日
山ノ口	上之原熊助	男	九十二	慶応二年四月十六日
下	大浦マス	女	九十一	慶応三年五月二十六日
東大原	鮎川与之助	男	九〇	明治元年九月八日
中村	中村ヤエ	女	八九	明治二年二月十日
西中都	田中ケサ	女	八九	明治二年四月十二日
中尾	横原シヲ	女	八八	明治三年五月十二日

一、八十才以上高令者

(明治三年九月十五日以前に出生した者)

長生きの村

問題 1

その特徴は村が平和で食生活が合理化されている。

●広鹿郡下の向陽の立花部落は、全人口と七十才以上の者ととの比率（長寿率）が八・九％となつて居り、全国平均の二・二％に比べ約四倍といふ生きを示しています。この原

で主食は米に麦、イモその他を混合し、野菜豆類を多くとり又海から豊富に得られる小魚、海藻、貝類を餌にとつて

2、次に長者は老人の精神衛生が大きい影響しますが、この部落は温厚でケンカカ等等は全くない平和な部落であることが長生の因になつておると考えられます。

御挨拶申し上げます

[illegible]

初年度の歩み

和歌山の八・一六勸評反対闘争
事件の市街戦さながらな、あの具

収入合計	5,679,640		
支出 //	4,931,271	差引翌年度へ繰越	748,369

と言つて見にくい争いをこととし
相手の欠点をあばく事に精神を洩

林業改良指導員
山下郁男

ありますのでせめて「闘争のない
庭が集合して出来たものが、
和合一致の協力体制によつてすく

誕生する日まで

と云つて是に於いて争ひを止とし
ずであります。

相手の欠点をあはく事に情眼を混
ざりませうのでもめて「闘争的な」
和合一致の協力体制によつてすぐ

築きましよう

ました。尚役員と競射会の成績 中原操（C組）中國利美

開きの神事と競
前田昌之（C組）馬庭靜雄

ました。尚役員と競射会の成績 中原操（C組）中國利美

ました。尚役員と競射会の成績 中原操（C組）中國利美

使わなければ退化します。また余り一ヶ所ばかりを使つたり、酷使